

# 地方人口ビジョン 地方版総合戦略 の策定目指して

く若い世代や高校生のこれからの生活に関する意識調査結果の概要についてく



これから将来を担う世代が笑顔で暮らせるように。



市では、現在、全国的な傾向でもある少子化や人口減少に関する課題を重く受け止め、その解決に向けた取り組みを積極的に進めるため、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に取り組んでいます。

人口減少の克服や地方創生の実現を図るためには、地域住民の結婚・出産・子育ての希望や本市への定住に関する希望などを実現する観点を重視する必要があります。このようなことから高校生や若い世代を対象に、「卒業後の進路」や「結婚」、「家族観」、「子ども・子育て観」などを把握するための意識調査を行いました。

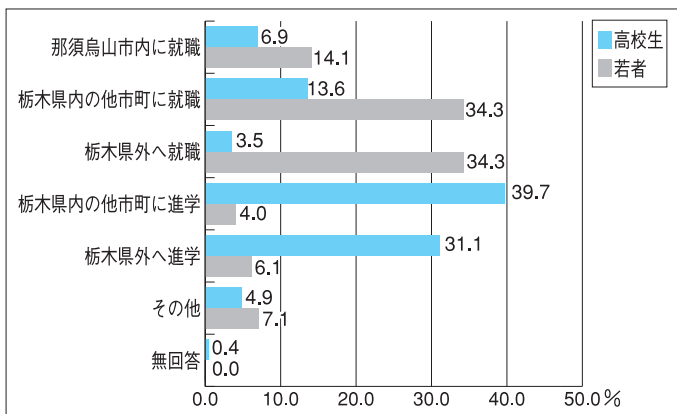
その結果がまとまりましたので、今月号では、調査結果の概要をお知らせします。

## 調査の概要

意識調査では、「調査1…若い世代のこれからの生活に関する意識調査」と「調査2…高校生のこれからの生活に関する意識調査」の2種類の調査を実施しました。今回は、2種類の調査の中で、主な調査結果を紹介します。なお、調査の対象や配布数、調査方法などの概要については下記の表をご覧ください。

	調査1 若い世代のこれからの生活に関する意識調査	調査2 高校生のこれからの生活に関する意識調査
対 象	市内に居住する若者世代 (18歳～35歳)	烏山高校に通う全生徒 (1年生～3年生)
配 布 数	2,000件	539件
抽 出 数	無作為抽出	烏山高校全生徒
調査方法	郵送法	直接持込・回収
実施時期	平成27年9月	平成27年9月
有効回収数	592件	509件
有効回収率	29.6%	94.4%

### 1-①今後(卒業後)の進路



### 1-①今後(卒業後)の進路

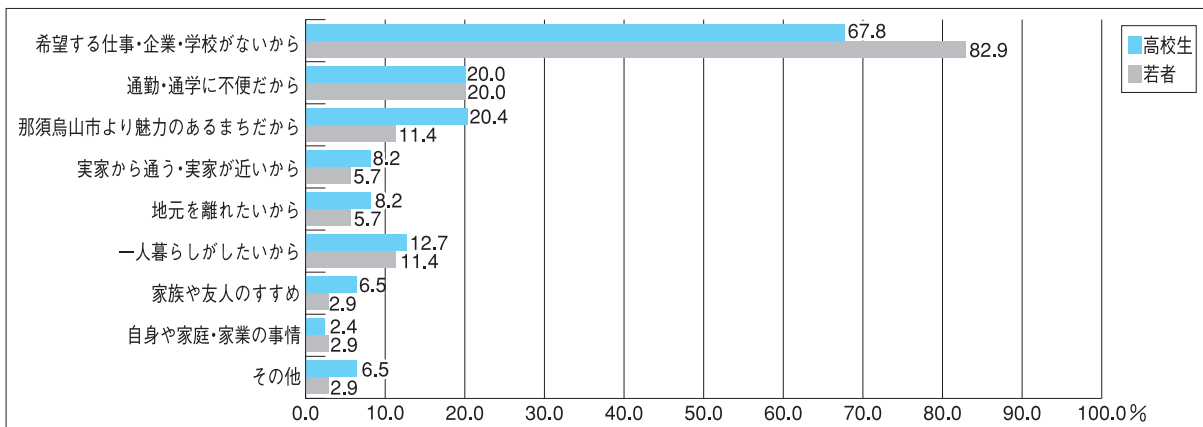
今後(卒業後)の進路について、調査1では、約7割超が「栃木県内の他市町に就職」、「栃木県外へ就職」と回答し、「那須烏山市内に就職」は1割超の回答にとどまっています。また、調査2でも、同様の結果となっています。

### 1-②市内に就職を希望しない理由

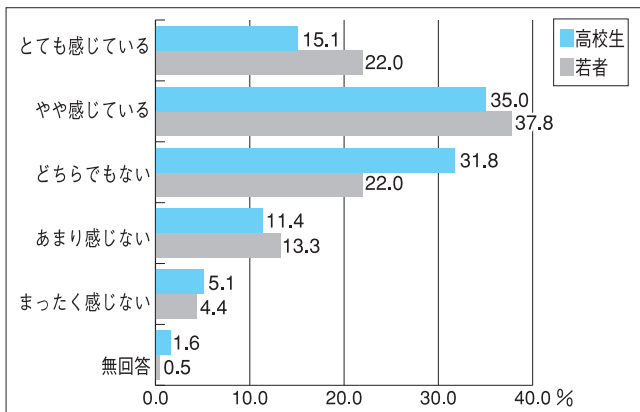
「1-①今後(卒業後)の進路」についての問いで、市内に就職を希望しない理由としては、「希望する仕事・企業がないから」が調査1では8割超、調査2では約7割と最も多い結果となっています。

## 今後の進路について

### 1-②市内に就職を希望しない理由



2-①本市に対する愛着や親しみ



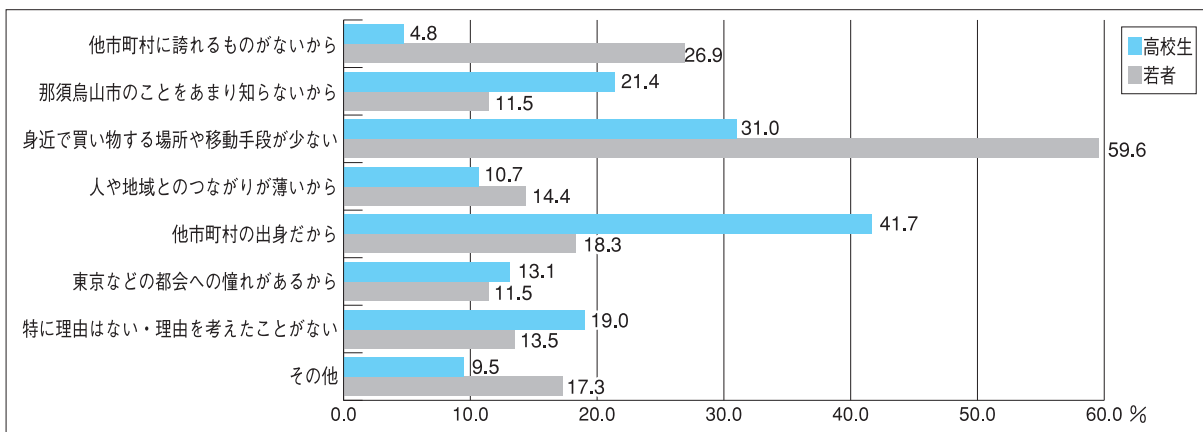
2-①本市に対する愛着や親しみ

本市に対する愛着や親しみについて、調査1では、「やや感じている」が3割超と最も多く、次いで「とても感じている」が2割超となっています。調査2では、「やや感じている」が3割超と最も多く、「どちらでもない」がほぼ同じ割合となっています。

2-②愛着を感じない理由

2-①の問いで、愛着を感じない理由としては、調査1では、「身近で買い物をする場所や移動手段が少ないなど、生活が不便だから」が約6割と最も多く、次いで「他市町村に誇れるものがないから」が約3割となっています。調査2では、「他市町村の出身だから」が約4割と最も多く、次いで「身近で買い物する場所や移動手段が少ないなど、生活が不便だから」が約3割となっています。

2-②愛着を感じない理由



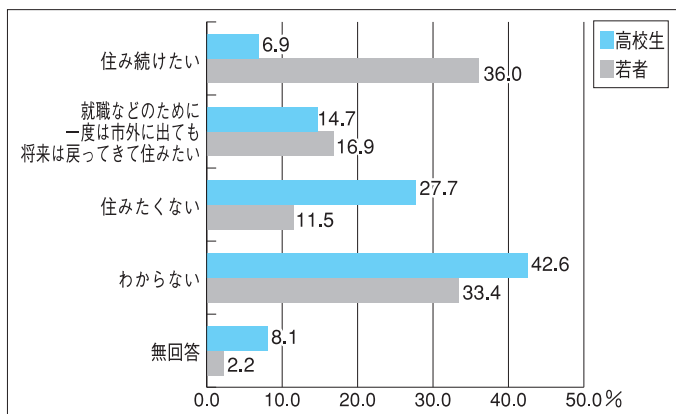
3-①本市にこれからも住みたいか

本市にこれからも住みたいかという問いに対して、調査1では、「住み続けたい」が3割超と最も多く、「わからない」がほぼ同じ割合となっています。調査2では、「わからない」が4割超と最も多く、次いで「住みたくない」が約3割となっています。

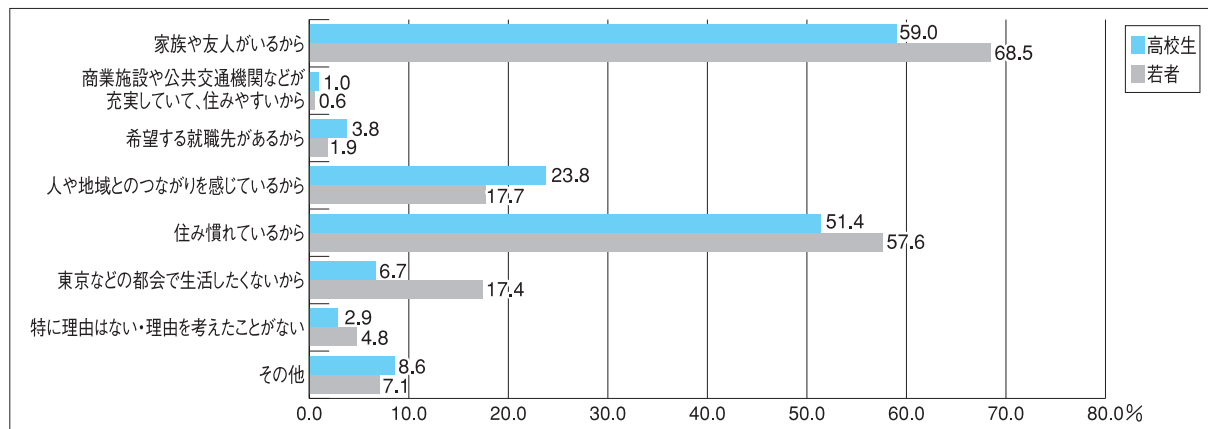
3-②住みたいと思う理由

3-①についての問いで、住み続けたい理由としては、調査1では、「家族や友人がいるから」が約7割と最も多く、次いで「住み慣れているから」が約6割となっています。調査2でも同様に、「家族や友人がいるから」が約6割と最も多く、次いで「住み慣れているから」が約5割という結果になっています。

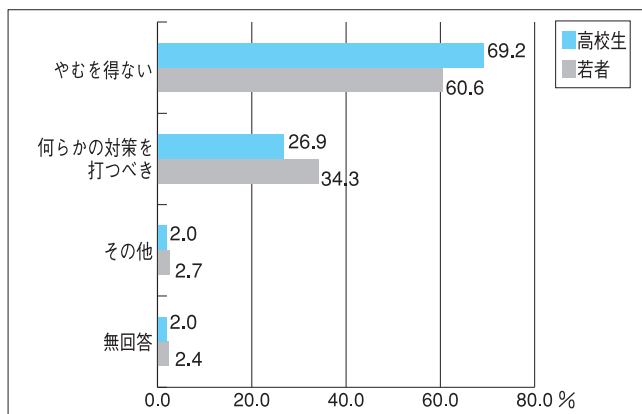
3-①本市にこれからも住みたいか



3-②住みたいと思う理由



#### 4-①転出抑制のための取り組み



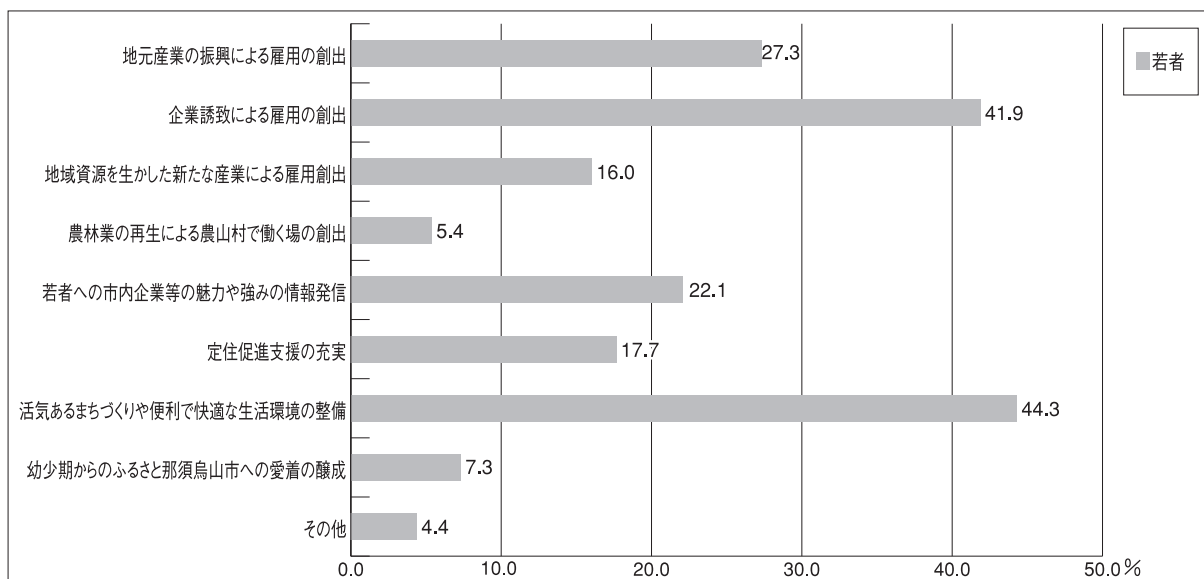
#### 4-①転出抑制のための取り組み

若者の転出傾向に対して、「やむを得ない」が調査1では6割、調査2では約7割と多い結果となっています。

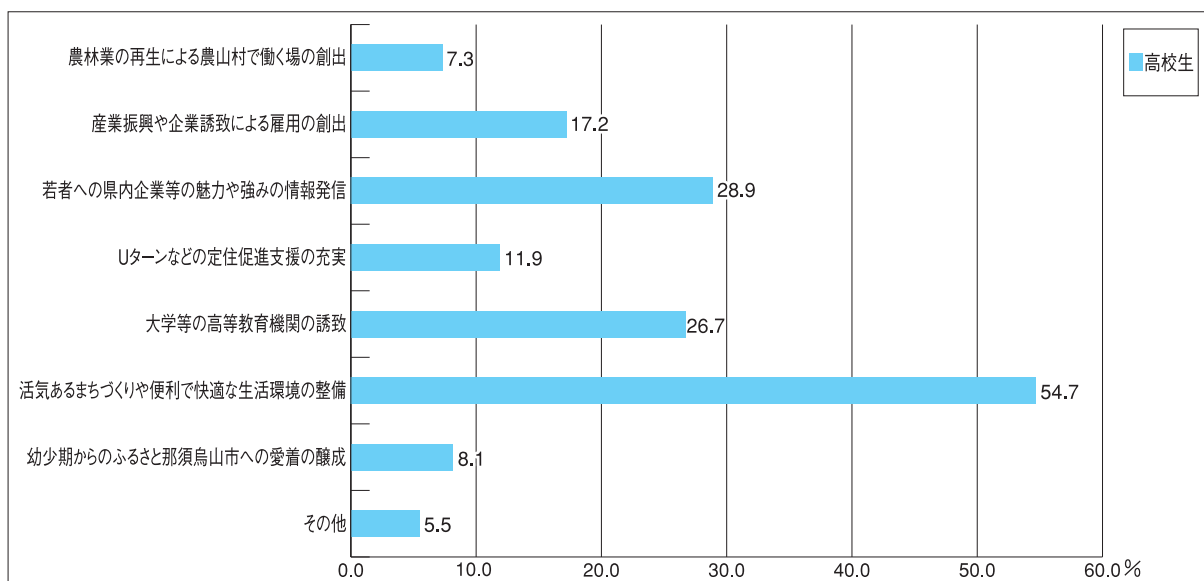
#### 4-②行政が充実すべき取り組み

若者の転出傾向を食い止めるために、行政が充実すべき取り組みについて、調査1では、「活気あるまちづくりや便利で快適な生活環境の整備」が4割超で最も多く、「企業誘致による雇用の創出」がほぼ同じ割合となっています。また、調査2では、「活気あるまちづくりや便利で快適な生活環境の整備」が5割超で最も多く、次いで「若者への県内企業などの魅力や強みの情報発信」、「大学等の高等教育機関の誘致」という回答となっています。

#### 4-②行政が充実すべき取り組み(調査1)



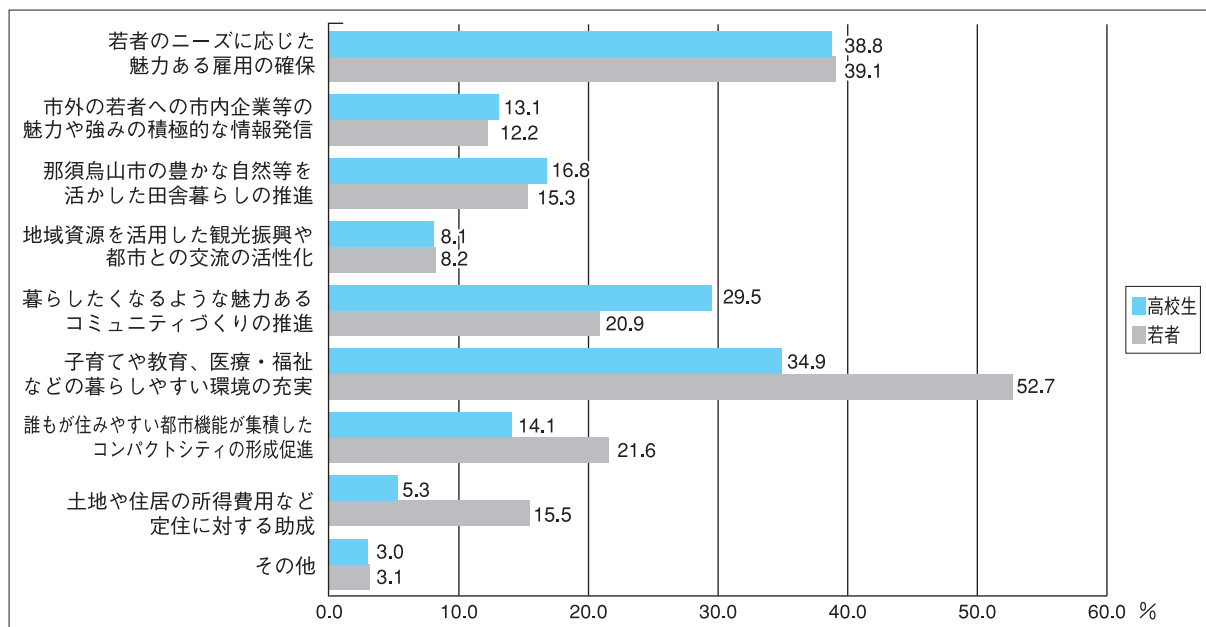
#### 4-②行政が充実すべき取り組み(調査2)



5-①若者を呼び戻すための取り組み

市外に転出した若者を呼び戻すために行政が充実すべきだと思う取り組みについて、調査1では、「子育てや教育、医療・福祉などの暮らしやすい環境の充実」が5割超で最も多く、次いで「若者のニーズに応じた魅力ある雇用の確保」が約4割という回答になっています。調査2では、「若者のニーズに応じた魅力ある雇用の確保」が約4割で最も多く、次いで「子育てや教育、医療・福祉などの暮らしやすい環境の充実」が3割超となっています。

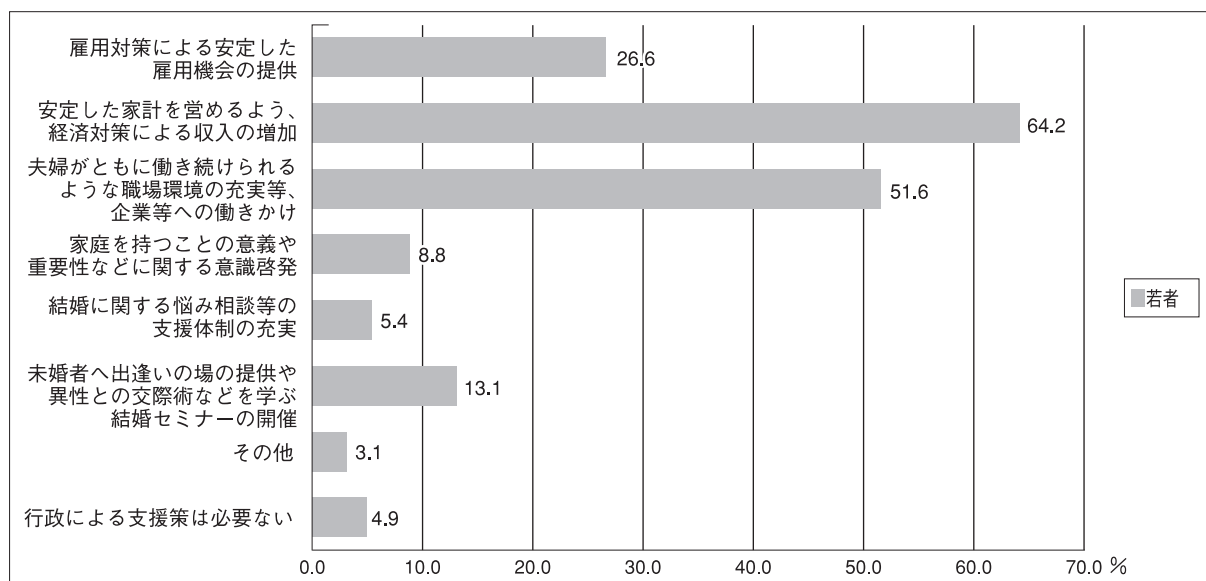
5-①若者を呼び戻すための取り組み



6-①行政に求める結婚支援策(調査1のみ)

行政に求める結婚支援策として、「経済対策による収入の増加」が6割超と最も多く、次いで「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実等、企業等への働きかけ」が約半数を占める結果となっています。

6-①行政に求める結婚支援策



# ゆるキャラグランプリ 2015

総合293位！  
投票ありがとうございました

この度は、「ゆるキャラグランプリ2015」へのエントリーにつきまして、皆様から多大なご支援を賜りましたことに深くお礼申し上げます。

グランプリ出場したことで、たくさんの方が私たち「ここなす姫」、「からすまる」、「やまどん」のことを知ってくれ、お友達になることができました。たくさんの方が、私たちに毎日たくさんの投票をしてくださいました。中には、投票数を上げるためにチラシをたくさん配ってくれた人もいました。

結果は、

◎総合順位：293位

◎ご当地順位：200位

◎得票数：11,832ポイント

でした。

目標の100位以内には届きませんが、ここまでの得票と順位になったのは本当に皆さんのおかげです。

これからも那須烏山市の魅力アップのためにがんばりますので仲良くしてください。

ありがとうございました。

12月吉日

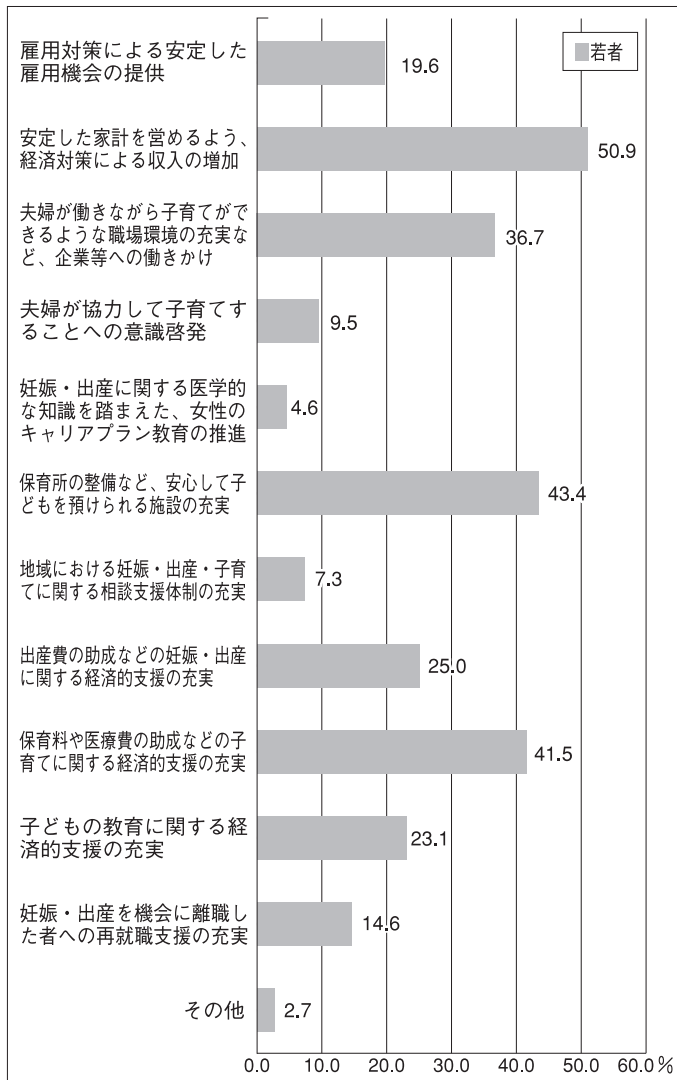
ここなす姫・からすまる・やまどん



## 7-①理想とする人数の子どもを持つための施策(調査1のみ)

理想とする人数の子どもを持つために行政が力を入れるべきだと思う施策について、「経済対策による収入の増加」が約半数で最も多く、次いで「安心して子どもを預けられる施設の充実」、「子育てに関する経済的支援の充実」が4割超となっています。

## 7-①理想とする人数の子どもを持つための施策



■理想とする人数の子どもを持つために行政に求める施策について

## ■計画策定に向けて

市では、今後、この結果を「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」に反映することとともに、若い世代が本市に愛着を持ち、「住み続けたい」というまちづくり”そして、「市外からも移住したい」と思ってもらえるようなまちづくり”に向け、具体的な取り組みを展開していくこととしています。

原案がまとまり次第、パブリックコメントを実施し、市民の皆さんをはじめ、多くの人々から計画に対するご意見・ご提案を募集する予定です。

なお、パブリックコメントの実施に関しては、別途お知らせいたします。

■総合政策課 ☎ 0287-83-1112

# 平成27年度那須烏山市消防団通常点検

## 非常時に備えて万全な体制づくりを！

那須烏山市消防団(奥野一美団長の通常点検が、11月8日(日)、大桶運動公園で開かれ、団員や来賓約600人が参加しました。

この点検は、非常時に備えるために

人員、服装、機械器具、放水などを点検することで、市民の防火・防災意識や団員の士気を高めるために開かれているものです。

当日は、8分団39部から434人、女



上:団員の服装点検をする大谷市長。  
下:一斉に行われた放水。

性消防団から15人、市内2中学校の少年消防隊員46人が参加し、様々な点検を行いました。講評、訓示の後には、消防活動に功績のあった団員や団体などに表彰状が手渡されました。

模範消防団員知事表彰、県消防協会長

表彰の受賞者は次のとおりです(敬称略)。

### ■栃木県知事表彰

▽模範消防団員表彰…佐藤大、齋藤政彦

### ■栃木県消防協会長表彰

▽功績章…大貫裕一、仲山健司

### ▽勤続章

〔20年〕大貫裕一、河又伊佐男、石川晋一郎、磯則夫、井上剛、草分信也、栗田貴久、

関三男、矢野雄一、大笹久幸

〔15年〕鈴木康宏、横山英介、荒井裕明、

中山正和、星宮宏文、鈴木直樹、田代義

久、相吉沢勝弘、橋本征彦、小西博明、大森伸一、菊池紀夫、菊池善也、岡和宏、加藤武、入江英夫、加藤裕一、佐藤充宏、佐藤和彦、高田直人、平野健一、増淵勲、中山智之

〔10年〕荻野目俊、瀧田邦明、高瀬浩明、

岡崎順一、石井泰之、樋山一意、高沼克

仁、羽石誠、平野智史、羽石克成、木村豪、

佐藤篤、菊地広大、根本英樹、屋代翔、藤

田求、荒井宏、久宮秀之、小泉典洋、高野

浩也、高田修司、野川一成、板橋竜太

### ■栃木県消防協会南那須支部長表彰

▽優良分団(竿頭綬)…第8分団

▽功績章…大橋昭一、福田長弘、河又伊

佐男

▽兄弟消防団員表彰…横山壮一、小林

義行

## 地域防災力を高めよう！

## 市内各地で防災訓練開かれる

50年・100年に一度というような

災害が近年、全国各地で頻発する中、防災訓練を通して日頃の生活に役立てようと、11月に入り、市内各地で防災訓練が行われました。その中からいくつか

住民が参加しました。

訓練では、那須烏山消防署の協力で、関東大震災、阪神・淡路大震災などの揺れを再現した地震体験や煙体験、AEDを使った救急救命講習などのほか、

れ、住民約1000人が参加しました。

当日は、土砂災害を想定した避難訓練から始まり、その後、田野倉駐在所の大谷義貴さんによる交通安全の講話や振り込め詐欺防止の寸劇が行われまし

た。

そのほか、非常食の試食や炊き出し訓練として作った豚汁が振る舞われ、地域住民同士で非常時の心構えや対応を学びました。

上から、水消火器体験をする子どもたち(南部地区)/煙を体験する参加者(大桶下自治会)/振り込め詐欺防止の寸劇を披露(小倉自治会)。

の様子を紹介します。

## 南部地区・大桶下自治会 体験通して防災学ぶ

3日(祝)、(有)栗山駐車場で南部地区行政区の訓練が行われ、小埜、森田宿、輪之内、大里、曲田の住民約250人が参加。7日(土)には、大桶下公民館で大桶下自治会による訓練が行われ、約80人の

炊き出し訓練が行われ、避難時に備えました。参加者たちは、様々な訓練を体験し、災害の恐ろしさを再認識したようです。

## 土砂災害を想定

### 小倉自治会で避難訓練

22日(日)には、小倉公民館で小倉自治会と小倉自主防災会による訓練が行わ

## 石巻市まいたち子ども親善大使活動

# 栃木の新米200kgを贈呈

災害ボランティアチーム龍JIN(小堀恵美子代表)では、11月14日(日)、市内小中高生ら33人を「石巻市まごころ子ども親善大使」として任命し、宮城県石巻市の被災地数か所を訪れ、栃木の新

米200kgを贈呈しました。

この新米寄贈は、災害ボランティアチーム龍JINとJAなす南が毎年行っているもので今年で4年目となりました。

現地に到着した一行は、JAまつりや牡蠣直送販売の支援をした荻浜や牡鹿半島南端の鮎川小仮設住宅を訪問し、被災地の皆さんと交流しました。門脇地区では震災当時の写真パネルを見ながら被災状況や避難の様子を見学した後、避難地となった日和山に登り参拝しました。鳥山高校1年の大鐘李奈さんは、「4年8ヶ月経ってもあまり復興していないことが分かった。それでも前向きに笑顔で頑張っている人の姿に感動した。震災当日に多くの被災者が一夜を明かした日和山から見た光景を一生忘れない」と話していました。



石巻市門脇で被災体験談を聞く一行。



## 「もったいない」を「ありがとう」へ フードバンク那須烏山が生活支援

昨年10月に設立したフードバンク那須烏山(小堀恵美子代表)の活動が1年を迎えました。

このフードバンクとは、NPO法人とちぎボランティアネットワーク(とちぎVネット)が運営している事業

で缶詰や加工食品などをフードバンクが受け取り、必要とする施設や個人に支援する活動です。県内では、本市のほか、宇都宮、大田原、日光の4つの拠点でフードバンク活動を行っています。

現在、市民カフェ 35番館と市社会福祉協議会で支援物資の受入を行っています。多くの地域住民からの寄付により、1年間で施設や個人に対して46件の支援を行いました。

小堀代表は、「地域の人々からの支援でたくさんの方が助かっている。とてもありがたいこと。この助け合いの輪がこれからも広がってほしい」と話していました。



地域住民から寄せられた多くの支援物資。





## 健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪

# 健康福祉まつりで交流の輪を広げる

第10回「那須烏山市健康福祉まつり」が11月1日(日)、保健福祉センターで開かれました。

この催しは、健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと、「健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪」をスローガンに、市社会福祉協議会を中心とした実行委員会が開いたものです。

当日は、高齢者施設利用者や特別支援学校の児童・生徒等による作品展・販売、市民や小・中学生による福祉標語・ポスターコンクールの作品展示、市内のボランティア団体等による各種模擬店の出店のほか、スタンプラリーなど様々な企画で多くの来場者を楽しませました。なかでも、頸動脈超音波検査や、健康度チェック、骨密度検査などが体験できる健康福祉体験では、気軽に健康度がチェックできると好評を博しました。また、那須烏山ふるさと太鼓保存会による太鼓演奏やクラブオアシス

【写真】①骨密度検査や体組成測定で健康をチェック ②心肺蘇生法とAEDの使い方を消防署職員に教わる来場者 ③大勢の人でにぎわったバザー ④クラブオアシスによる健康体操 ⑤シルバー人材センターによる刃物研ぎ ⑥毎年人気の苗木配布。

による健康体操、栃木県住みます芸人「上原チョー」のお笑いステージが披露され、会場を盛り上げました。

### ブルーベリーとアキグミの苗木配布に長蛇の列

健康福祉まつりが行われた11月1日(日)、保健福祉センターで、「苗木配布」が行われました。これは、那須烏山市緑化推進委員会が緑の募金事業の一環で開いたもので、当日は、同委員会の会長でもある大谷範雄市長やマロニエメイツから、ブルーベリーとアキグミの苗木

が先着400人に手渡されました。毎年、人気の苗木配布会。今年も開始の何十分も前から並ぶ人が出るほど好評で、すぐに品切れになってしまいました。この日集まった募金1万8738円は、緑化推進活動に活用されます。

なお、バザーや模擬店などの収益は、市社会福祉協議会の善意銀行に寄付され、福祉団体の活動などに活用されます。

### 大木須の和久文雄さん 独創的な “絵”が話題に



市社会福祉協議会の就労継続支援B型事業所あすなろに在籍する和久文雄さん(大木須)の描いた絵が話題を呼んでいます。

もともと絵を描くのが好きな和久さん。主に色鉛筆やクーピーなどを使って描くという絵は、どれも独創的。豊かな想像力と表現力で見入る人を引きつけます。

今までに、成人期の障がいのある人たちを応援する事業所「きょうされん」が開くカレンダーやグッズデザインコンクールに何度も入選を果たしているほか、那珂川町の旧小口小学校の校舎を再利用した美術館で毎年行われている「もうひとつの美術館なかがわまちアートフォレスト」でも評価され、展示されるほどの腕前です。11月1日(日)に行われた健康福祉まつりでは、和久さんが描いた絵をプリントしたポストカードも販売され、好評を博しました。

最近では、作詞も手がける和久さん。「まだまだ描きたい絵がたくさん。もっと頑張りたい」と笑顔で話していました。

## 第37回川柳大会

# 川柳愛好家61人集う

南那須川柳会(篠崎酔月会長)では、11月8日(日)、保健福祉センターで、第37回那須烏山市文化



愛好家が集う川柳大会。

祭「川柳大会」を開きました。毎年、県内外から多くの川柳愛好家が集う同大会。今年は、61人が参加し、川柳の奥深さを堪能しました。

当日は、事前に出された宿題として、「長い」、「鈴生り」、「落葉樹」など6題のほか、その場出される席題には、「豆」、「勢い」が出題され、参加者は頭をひねりながら句を詠みました。

披講では、各題の選者が参加者から投げられた句を順に読み上げました。多くの名句の誕生に参加者からは、笑いや感嘆の声があがりました。

## 商工会まつり&軽トラ市 多くの人でにぎわう

11月3日(祝)、山あげ会館周辺で、那須烏山商工会による「商工会まつり」と「スー爺サンタの軽トラ市」が行われました。

これは、地域の商工業のPRや地域活性化を目的に毎年開かれているもので、今年で8回目を数えます。

会場では、農産物を販売する軽トラ市や、飲食物の模擬店が数多く立ち並びました。また、昨年好評を博した「ミニアキム」の乗車体験が今年も行われ、親子連れが長蛇の列を作りました。特設ステージでは、多くの団体によるダンスや太鼓の演奏のほか、商工会女性



上:大勢の人が参加したもちまき。  
下:大盛況の軽トラ市。

## 次代につなぐ協同テーマに

# 「JAまつり」を開催

JAなす南では、10月31日(日)、11月1日(月)、「次代につなぐ協同」をテーマにJAなす南本店で第17回「JAまつり」を開きました。

会場では、農産物の販売のほか、地産地消を促す米や和牛肉・豚肉消費拡大コーナーなど様々なテントが並び、大勢の人でに

ぎわいました。特設ステージでは、にっこり梨の皮むき・早食い大会や志鳥出身の柴野真理子さんがボーカルを務める「LOO PCHILD」のライブ、地元

歌手歌謡ショーなど様々な催しが行われ、子どもから大人まで楽しめました。



様々な催しが繰り広げられたステージ。

## 那須烏山商工会女性部 市民の歌よさこい ver.2015披露

那須烏山商工会女性部(三森紀子部長)では、市民の歌よさこいバージョンの曲に合わせ、「よさこい」を商工会まつりで市民に初めて披露しました。これは、同会女性部が老若男女みんなが楽しめるようにと考案したもの。振り付けは、ダンスのインストラクター神山拓実さんに指導を受けて約2ヶ月間猛特訓しました。三森部長は、「市民みんなで踊れるように広めていきたい」と話していました。



那須烏山商工会女性部による「よさこい」。

部による「よさこい踊り」が初披露され、会場に華を添えました。そのほか、スタンプリリーやも

ちまき、デザインプルアート体験教室など多くの催しが行われるなど、会場は大いににぎわいました。